



広報官が中学生にむけてキャリア教育講話を行ないました



言葉を生業にしていた広報官が“伝える”のではなく、“伝える”ことの意味を語りました。

8月31日、合志中学校で2年生を対象に、自身の将来像を具体的にイメージし、自己理解を深めることを目的とし、職場体験の事前学習として“キャリア教育”講話を行ないました。

三宅宣行広報官が、「市の情報発信を知ろう！～広報官のお仕事～」と題して、市役所の仕事内容や多様な広報の在り方などを伝えました。また、得意なことを活かし、アナウンサーや報道記者として勤め、夢を実現させた経験を語り、中学生はテレビで観ていた広報官の話に目を輝かせながら聴いていました。

最後に未来を担う子どもたちへ「より良い、住みやすい、元気な合志市と一緒につくっていきましょう」と熱いメッセージを送りました。



講話後、教室でタブレットを開き、配信されている合志市電子ライブラリーを閲覧しました。県在住者や県出身者の働く様子を掲載した新聞記事から、数多くの職業・生き方があることを学び、生徒同士で気づきや意見を交換していました。

合志市電子ライブラリーとは

家庭や地域での子どもたちの学びを支援するため、令和4年12月から市立小・中学校の児童・生徒(小4～中3)のタブレット端末で閲覧できるようになった“情報の図書館”です。熊本日日新聞の記事や写真を活かし、本市の歴史や文化をはじめ、ハンセン病や水俣病など熊本の社会問題についても学習できる項目を掲載しています。



鈴木昊之介さん

電子ライブラリーは、仕事の内容が詳しく載っていたので、興味がわく内容でした。職場体験で活かせることがないかを電子ライブラリーで探したいと思いました。



中山瑠梨さん

三宅さんの話を聞いて、毎日、向上心をもって仕事に取り組むことが大切だと学びました。3日間ある職場体験で、私も成長できるようにしたいです。

南須屋区が宝くじの助成金でコミュニティ活動備品を整備

9月上旬、南須屋区で地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としたコミュニティ助成事業により、コミュニティ活動備品が整備されました。この、コミュニティ助成事業は、(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しているもので、今後の南須屋区のみならずの活性化が期待されます。



南須屋区に整備された備品など

山口国際ダンスコンペティション 準優勝・教育長賞でW受賞

8月19・20日、山口県で開催された、第3回山口国際ダンスコンペティションのコンテンポラリーソロ部門で、鹿間れいあさん(群)が準優勝しました。鹿間さんは、レイドANCE STUDIOの教師で、バレエ・ダンス指導や振り付けをしながら、ダンサーとしても活躍しています。11月の京都バレエコンクールに出場する予定で「次こそ優勝を目指して頑張りたい」と意気込みました。



周南市教育長賞も同時受賞しました

第37回熊本県子ども会連合会 ビーチボールバレー大会混合の部第3位

8月20日、天草市河浦中央体育館で第37回熊本県子ども会連合会ビーチボールバレー大会が開催され、混合の部でウォーターズ(新開・みずき台子ども会)が3位という見事な成績を収めました。キャプテンの井上陽文さん(西合志東小6年)は「試合に向けてみんなでたくさん練習をしました。試合でも声を掛け合いながら精一杯頑張りました。3位に入賞できて嬉しい」と話しました。



ウォーターズ(新開・みずき台子ども会)の皆さん

クラブユース選手権(U-15)準優勝 市在住サッカー少年大活躍

8月24日、北海道帯広市でサッカーの第38回日本クラブユース選手権(U-15)が開催され、ソレッソ熊本は、惜しくも決勝で敗れ準優勝でした。J1下部組織を次々と撃破したチームのメンバーには、市在住の選手も。ゲームキャプテンを務めた木下斗稀さん(合志中3年)は「サッカーができる環境へ感謝し、この悔しさを忘れず、次の全国大会では必ず優勝したい」と決意を語りました。



左から西環汰朗さん、木下さん、渡部友翔さん、宮崎 正太郎さん(※3人は西南中3年)

熊本レスリングクラブの選手が活躍 九州少年少女レスリング選手権大会

8月27日、玉名市総合体育館で第10回ジュニア玉名杯兼九州少年少女レスリング選手権大会が開催され、熊本レスリングクラブ(磯川五生代表)の選手が優秀な成績を収めました。小学1・2年生女子の部で本藤聖菜さん(西合志東1年)が優勝、小学5・6年生女子の部で本藤心菜さん(西合志東6年)が準優勝、小学3・4年生女子の部で村上采未さん(合志南3年)が第3位でした。



左から、心菜さん、聖菜さん「メダルが獲れてうれしい。タックルが得意です」、采未さん